

本市の推移と他都市比較

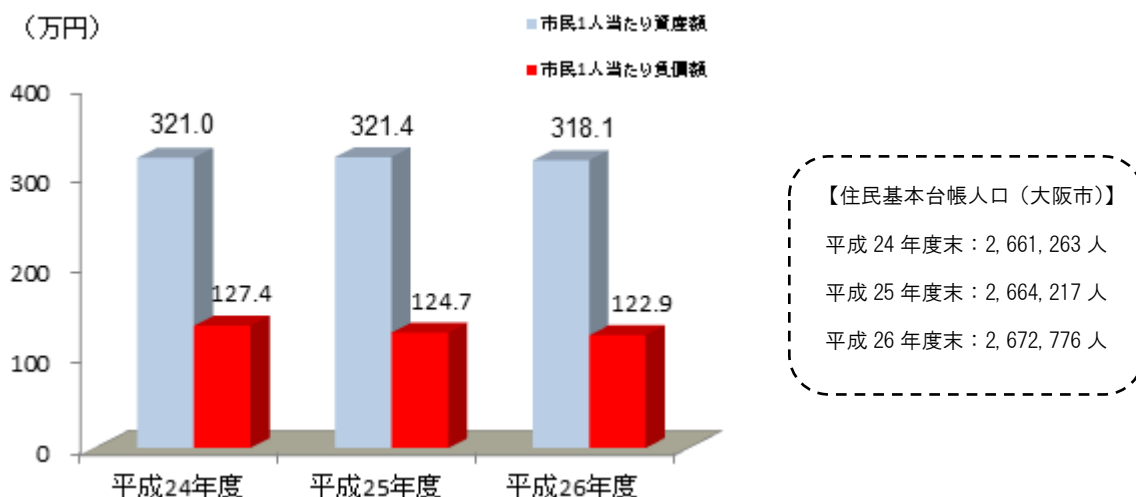
1. 市民1人当たり資産額と負債額

市民1人当たりの負債額は、この間の公共事業の縮減や地方債発行の抑制、職員数の削減により減少傾向にあります。

また、他都市と比較（平成25年度決算時点）すると、多くの資産を保有していることもわかります。これは本市が早くから道路などの都市基盤整備に取り組んできたことによるものですが、同時に多くの負債（将来世代の負担）を負っていることもわかります。

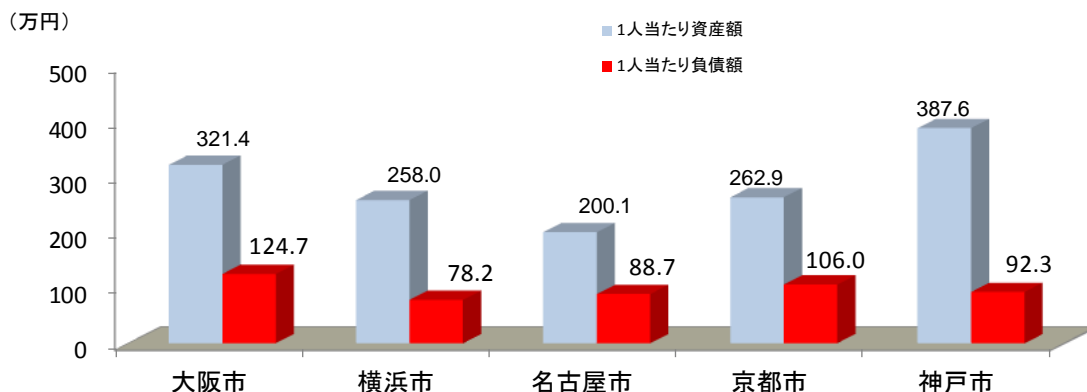
今後も負債額の縮減に努めていく必要があります。

① 3ヶ年推移（平成24～26年度）



※年度末の住民基本台帳人口により、1人当たりの額を算出しています。（以下同じ）

② 他都市比較（主要5政令市・平成25年度決算時点）



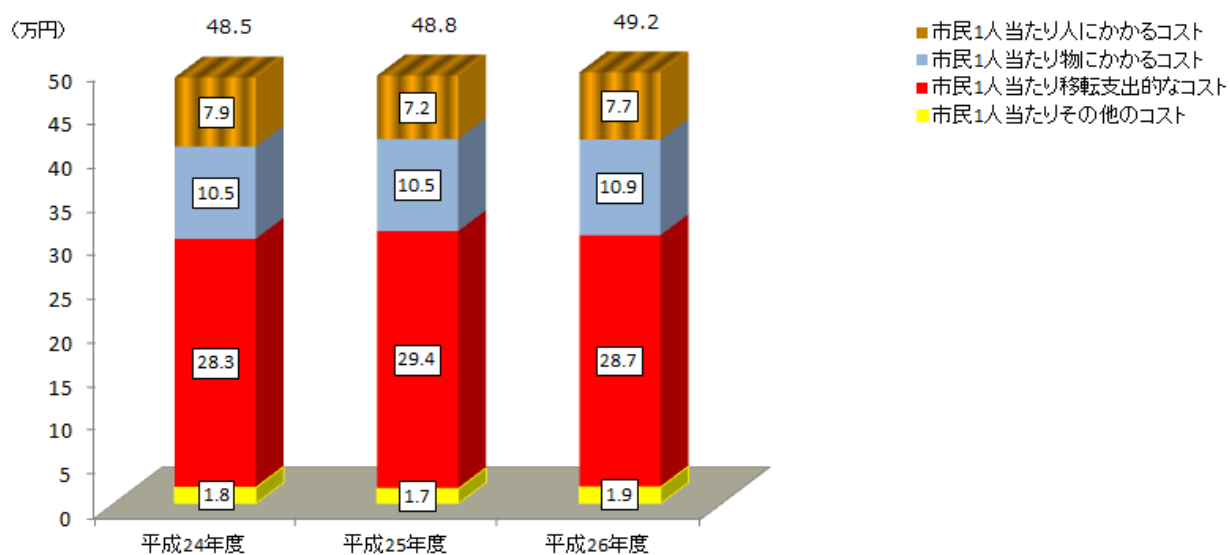
※自治体によって資産の評価方法が異なる場合があります。

2. 市民1人当たり経常行政コスト

市民1人当たりの経常行政コストの主たるコストは「移転支的的なコスト」です。なかでも、障がい者自立支援給付費の増加などにより社会保障給付は増加傾向にあります。

他都市との比較(平成25年度決算時点)でも、「移転支的的なコスト」が多額にのぼっていることがわかります。また、本市が最も多くの行政コストをかけていることから、今後も行財政改革に取り組む必要があります。

① 3ヶ年推移(平成24～26年度)



② 他都市比較(主要5政令市・平成25年度決算時点)

